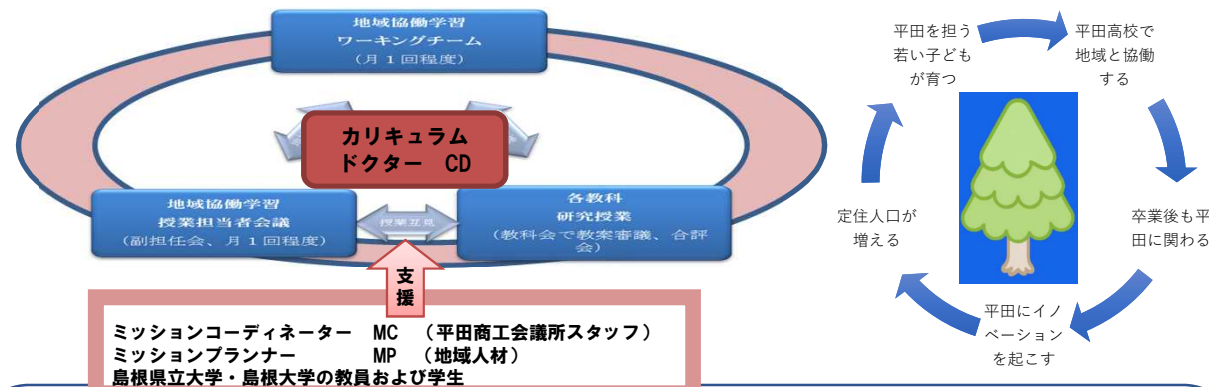


地域人材育成循環システム「平田プラタナスプラン」の構築

過疎化や高齢化、産業の衰退が進む平田地域において、地域の課題解決に向けた「地域協働学習」を柱としたカリキュラム開発をすることで、生徒自身が『自分というプラタナス』を育て、地域にイノベーションをおこすことのできる人材を育成する。また、大きく育ったプラタナスの木（卒業生）は豊かな土壌地域を育み、新たなプラタナス（次世代を担うこども達）を育てていく「地域人材育成循環システム」を構築できる。



令和元年度の目標

地域で活躍する人材を育成するため、次の3つの活動を行う。

- I 地域ブランドの創出
- II 多文化共生社会の推進
- III ファン人口交流人口の増加策

これらの活動を通して、高校での3年間に「地域での成功体験」を積み上げる。

取組状況

- (1)出雲産あずきの普及に向けた商品開発、基礎研究、宣伝活動
- (2)ブラジル人との交流会企画、出雲市長への政策提言
- (3)地域イベントの企画運営、観光マップの作成・提案
- (4)名古屋研修や平田地域海岸部農村部での研修など地域活性化の視点の土台をつくる活動
- (5)様々な活動を自分自身の進路に落とし込む個人探究活動
- (6)高校での学びを次世代の中学生に伝えていく継承活動

成果と課題

<成果>

1. 研究発表回数 7回 (目標6回)
2. 授業に関わった外部人材 50人 (目標8人)
3. 普及活動動員数 625人 (目標400人)
4. 学校全体に活気が生まれ生徒会活動や課外活動に積極的に挑戦しようとする生徒が増えた。

<課題とその対策>

- ①既存の地域資源・取組の県内外への発信
→生徒による情報発信活動の充実
チラシ作成、学校ホームページの活用など
- ②地元中学生の入学割合の向上
→学校の魅力を中学生と保護者に伝える活動の充実
- ③教員の授業改善の推進と挑戦意欲の高揚
→校内での授業見学や教員研修の充実
- ④地域活性化のための新たな視点
→「経済」の視点を取り入れた活動の充実
- ⑤担当教員、ミッションコーディネーターの負担軽減
→役割分担の明確化、連絡報告等の効率化